

コンシステンシー試験・流動性試験

グラウト材として使用される無収縮モルタルやエアモルタル、エアミルクの品質管理項目に、注入時の流動性を評価するためロートからの流下時間の確認があり、NEXCO施工管理要領の橋梁用支承に用いる無収縮モルタル、場所打ちぐい(人力掘削)の裏込めグラウトの基準試験・日常管理試験として求められています。

この注入時の流動性は、使用されるモルタル等の種類により試験方法が異なります。当機構では、モルタル等の流動性を確認するための3種類の試験を実施しています。

試験状況



Jロートによる試験

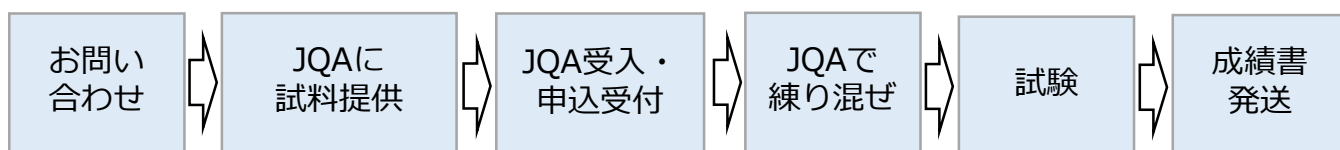


Pロートによる試験

試験方法

試験方法	規格値	供試体
コンシステンシー試験(NEXCO試験法312) Jロートによる試験	流下時間(セメント系) 8±2秒	無収縮モルタル
コンシステンシー試験(NEXCO試験法313) Pロートによる試験	流下時間(場所ぐい) 25±5秒	エアモルタル エアミルク
流動性試験(JSCE-F521) Pロートによる試験	流下時間 (仕様による)	注入モルタル等

ご依頼時の流れ



※現場での試験については、ご相談ください。

お問い合わせ先 <https://www.jqa.jp>

一般財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター 名古屋マテリアルテクノ試験所

〒481-0043 愛知県北名古屋市沖村沖浦39 TEL 0568-24-2204 / FAX 0568-24-1630 E-mail chubu-cstm@jqa.jp